

マイナンバーカードの普及・利用に関するお役立ち情報をお届け

# マイナンバーカード・インフォ（民間事業者向け） vol.116

## ○民間事業者の取組紹介

**ポケットサイン株式会社「マイナポータルAPIとの接続を仲介する開発プラットフォーム『PocketSign MynaConnect』の提供を開始」について**

デジタル庁 国民向けサービスグループ マイナンバーカード担当  
令和7年12月12日

# 民間事業者の取組紹介

## ポケットサイン株式会社「マイナポータルAPIとの接続を仲介する開発プラットフォーム『PocketSign MynaConnect』の提供を開始」について

ポケットサイン株式会社では、マイナポータルAPIとの接続を仲介する開発プラットフォーム「PocketSign MynaConnect」の提供を開始しました。マイナポータルAPI利用申請の準備と並行して、本プラットフォーム上でのテスト開発・PoC実施が可能となり、導入までの開発工数削減と開発体験向上を実現できます。

詳細につきましては、次ページ以降の別添をご覧くださいませよう願いたします。

【別添】ポケットサイン株式会社「マイナポータルAPIとの接続を仲介する開発プラットフォーム『PocketSign MynaConnect』の提供を開始」

マイナンバーカード・インフォでは、国の施策や民間事業者の事例紹介など、マイナンバーカードの利用促進に関するお役立ち情報をお届けしております。

デジタル庁のマイナンバーカード・インフォ（民間事業者向けお役立ち情報）において、これまで発出した全てのマイナンバーカード・インフォを掲載していますので、ぜひ、マイナンバーカードの利用検討にお役立てください。

[マイナンバーカード・インフォ（民間事業者向けお役立ち情報）](#)

# マイナポータルAPIとの接続を仲介する 開発プラットフォーム「PocketSign MynaConnect」の 提供を開始

# POCKETSIGN MynaConnect とは

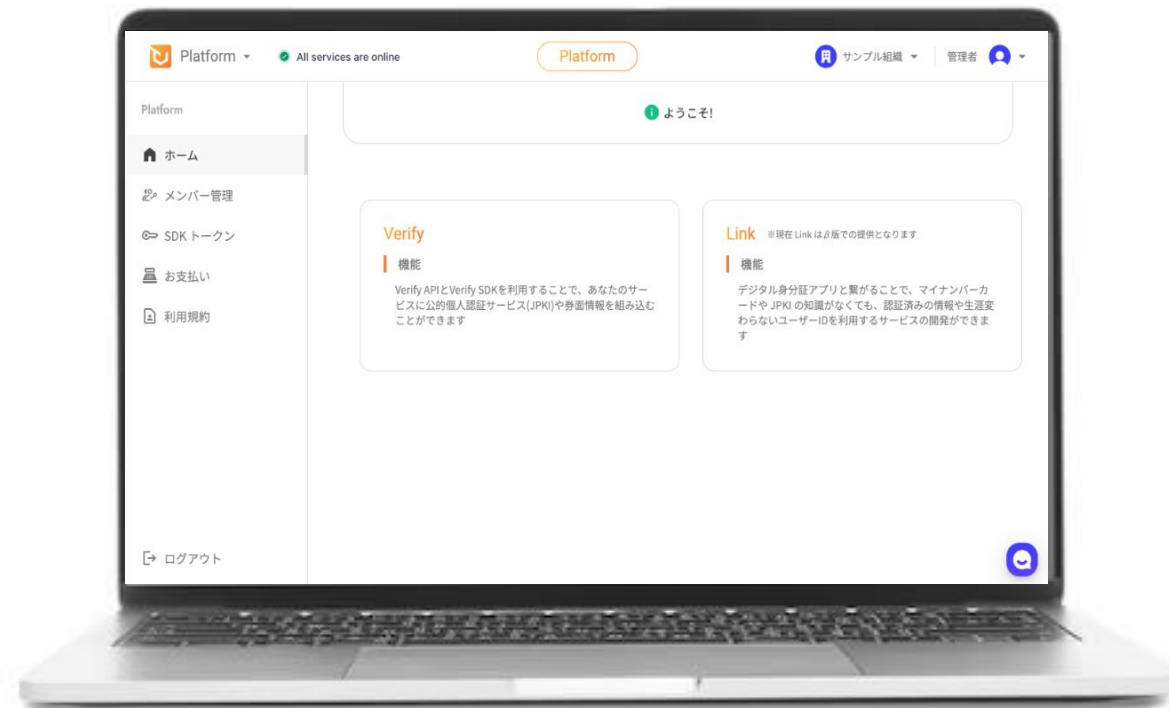
## マイナポータルAPIとの接続を仲介する開発プラットフォーム。

自己情報取得APIに先行対応し、利用申請中でも本番同様の開発が可能なモック環境を提供。  
導入までの開発工数削減と開発体験向上を実現します。

ポケットサイン開発環境（モック）で  
即検証が可能

PoCから本番への移行がスムーズに

マイナポータルとの接続のインフラ要件に対応



※デジタル庁が関与するサービスではありません。

※「ポケットサイン開発環境（モック）」でPoC実施できても、マイナポータルAPIの利用が保証されるわけではなく、デジタル庁へのサービス利用企画申請書の提出および審査が必要になります。

# マイナポータルAPIとは

デジタル庁が民間事業者や行政機関に対して提供しているAPIシステム。

特に今回対応した「自己情報取得API」は、民間企業のスマートフォンアプリやウェブサイトなどのサービスがこれに対応することで、サービス利用者が公的な情報を民間企業に提供する流れが大幅にスムーズになります。

## ▼「自己情報取得API」で取得できる情報の概要一覧（令和7年6月時点）

分野名	分野詳細
健康・医療	予防接種※
	検診情報※
	医療保険
	医療保険その他
	学校保健
	難病患者支援
	保険証の被保険者番号等
税・所得・口座情報	税・所得
	公金受取口座
年金関係	年金
	年金その他

※予防接種歴、検診情報、乳幼児健診、特定健診、薬剤情報等を取得する場合「民間PHR事業者による健診等情報の取扱いに関する基本的指針」を遵守する必要があります。

分野名	分野詳細
子ども・子育て	児童手当
	ひとり親家庭
	母子保健※
	教育・就学支援
	障害児支援・小児慢性特定疾病医療
世帯・戸籍情報	世帯情報
	戸籍関係情報
	戸籍手続オンライン利用者情報
福祉・介護	障害保健福祉
	生活保護
	中国残留邦人等支援
	介護・高齢者福祉
雇用保険・労災	雇用保険
	労災補償
出入国	出入国関連情報(令和8年6月～)

## 開発事業者とマイナポータルAPIとの間にPocketSign MynaConnectが入らないパターン

Before

- デジタル庁への利用申請の準備・審査プロセスに時間がかかる
- 審査前の、構想段階でのテスト開発・PoC実施が困難
- 公式のテスト環境では、利用期間やテストデータ数に制限がある
- マイナポータルAPIを使うサービス設計・開発の難度が高い

## 開発事業者とマイナポータルAPIとの間にPocketSign MynaConnectが入るパターン

After

- オリジナルのサンドボックス環境「ポケットサイン開発環境（モック）」が無償で即時利用可能
- 利用申請の準備と並行して、テスト開発・PoC実施が可能
- テスト開発・PoCから本番への移行がスムーズ
- マイナポータルAPIと接続するためのインフラ要件にも対応
- 開発環境の自由度が高くドキュメントも用意されており、開発者が自走しやすい

※デジタル庁が関与するサービスではありません。

※「ポケットサイン開発環境（モック）」でPoC実施できても、マイナポータルAPIの利用が保証されるわけではなく、デジタル庁へのサービス利用企画申請書の提出および審査が必要になります。

# お問い合わせ先

本件に関する詳細・お問い合わせについては、下記からお願いいたします。

ポケットサイン株式会社

- お問い合わせフォーム：<https://pocketsign.co.jp/contact>
- メールアドレス：[contact@pocketsign.co.jp](mailto:contact@pocketsign.co.jp)
- ホームページ：<https://pocketsign.co.jp/service/pocketsignplatform>